

テーマ：『ゴミの持ち帰り・まちの美化』のための意識啓発や注意喚起のサインを考えてみよう（広告物のデザインを通して、高尾山参道周辺地区にどのような広告物がふさわしいか考える）

work1：個人ワーク 内容：ワークシート（右図）をもとに、ひとりずつ意見をまとめる

アイデア・意見の概要

- アイデア・意見の方向性は、単にメッセージ（ゴミを持ち帰ること）を伝えるだけでなく、**周辺の自然やまちなみとの調和に配慮したり、わかりやすく伝える工夫をする**、というものが主であった
- どこに（場所）と誰が（設置者）について、**人がよく見る場所に重点をおく、行政・地域・企業が協働で設置するなど、多くの人との関わりを重視した**アイデアが出された
- 具体的なデザインについて、**大きさや素材、色彩で周辺の環境に配慮**するほか、**言葉やイラスト、図の表現で見る人にとってのわかりやすさや親しみやすさに配慮**したアイデアが出された

ワークシートに記入されたアイデアを、項目ごとにまとめました

高尾山参道周辺地区屋外広告物地域ルールを考えるワークショップ

ワークシート

2018.12.10（月）

どこに

誰が

どんな看板を

種類（立て看板、のぼり旗、シール など）

大きさ（高さ、幅、奥行あり）

素材（木材、紙、ステンレス など）

内容（言葉、図柄 など）

色彩（前面の色、文字・図柄の色、色数 など）

書体（文字の形 など）

その他（イメージなど）

どこに（場所）

ゴミが捨てられやすい場所

- 駐車場、花壇、各店舗
- その他
- 各所

5人以上（参加者の1/3以上）から出たアイデアです

多くの人から出たアイデア

人が集まる場所 過半数

- 駅前（高尾山口、清滝駅）、登山道の要所（山頂、入口）、広場、山頂、稲荷入口

通り沿い

- 山道（1号路）、遊歩道、裏道の中間



誰が（設置者）

一つの団体

- 行政、商店会

地元の個人

- 高尾山の自然が好きな人

個人と団体の連携

- 個人がデザインを検討し組織が作成する

多くの人から出たアイデア

複数団体の連携

- 官民（市＋鉄道会社＋商店会、都＋市＋鉄道会社＋薬王院、市＋鉄道会社、市＋NPO法人）、官民学子（市＋企業＋大学＋子ども）



どんな広告物を（方針）

自然との関係の考慮

- 山にふさわしく自然にマッチしたもの
- 広告物を含めて写真を撮りたくなるもの

既存の広告物との関係の考慮

- 自然研究路の表示と競合しないもの
- 方向表示とできるだけ一体化したもの

地域のシンボルの活用

- お掃除小僧、天狗
- 紅葉の葉うちわ、若葉、サル、ムササビ
- 商店会会長の似顔絵

多くの人から出たアイデア

わかりやすさや親しみやすさ

- 観光客など外国人や子どもも理解できるもの
- JISに登録されたもの
- 情報を伝えるだけでなく見て楽しいもの
- お願い型のもの



種類

平面的

- シール

立体的

- 天狗やお掃除小僧のオブジェ

周辺広告物とのつながり

- 統一感があるもの
- 立て看板からシールに展開できるもの

多くの人から出たアイデア

立て看板 過半数



大きさ

大きさの統一

- 高尾山内の他の広告物と大きさを揃える

高さ：人の身長程度

- 2,000mm

幅：人の幅以下

- 300mm、400mm

奥行き：人の幅超

- 1,000mm

多くの人から出たアイデア

高さ：人の目線以下

- 目線の高さ以下、小さなもの（150mm、500mm、900mm、1,200mm）
- 目線の高さ程度（1,500mm、1,600～1,700mm）

幅：人の幅超

- 500～600mm、1,000mm

素材

金属素材との組み合わせ

- ステンレスorスチール＋木材、ステンレスorスチール＋塗装、ステンレスorアルポリック＋石材

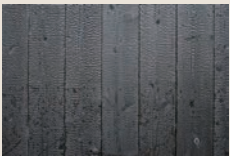
耐久性

- 劣化しないもの

多くの人から出たアイデア

木材 過半数

- 自然木、間伐材、杉、焼杉



内容

端的な表現

- 短くわかりやすいもの
- イラストや図記号を使ったもの

多くの人から出たアイデア

やさしい表現 過半数

- 呼びかけや話し言葉などの表現

多言語表記

- 3ヶ国語表記（日本語、英語、中国語）、4ヶ国語表記（日本語、英語、中国語、韓国語）

色彩

地区の自然にまつわる色

- 若葉、紅葉、リアルな色

既存ルール継承

- JIS、東電柱広告に準拠したもの

色味の強いもの

- ハッキリとした色彩

色数

- 1～2色

多くの人から出たアイデア

地色：深みのある色

- 緑、茶、木目調、黒、アースカラー、派手でないもの（小布施の広告物など）

文字：明るい色

- 白



書体

読みやすさ

- ハッキリとした書体、見やすい太さ、適度な大きさ

JISに登録された書体、ゴシック体

デザイン性

- 統一した書体、丸みがある書体

ゴシック体

和風

- 和の書体、楷書

work2: グループワーク 内容:ひとりずつの意見を発表し、グループでひとつの案にまとめる

模造紙にまとめられたアイデアは以下のとおりです

1班のアイデアの概要

•町会が主体となり、地域を代表する天狗をモチーフに立体と平面の広告物を作り、場所に応じて使い分ける

1班

場所

駅前+人が集まる場所

誰が

(行政)+町会

種類

①立体と②看板

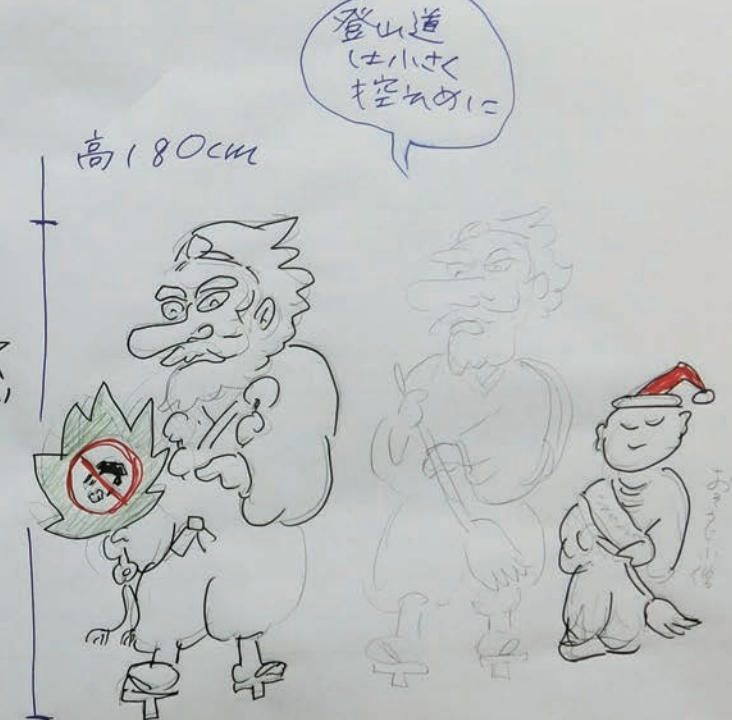
素材

枠を黒のステンレス
からいいもの

内容

日本語・英語
中国語

高180cm



2班のアイデアの概要

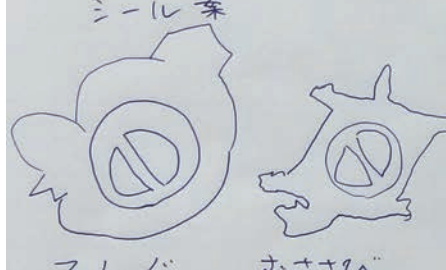
•初めて訪れる人を対象に、方向表示を兼ねた広告物と、地域のシンボルを活かしたシールや立て看板を作り、場所に応じて使い分ける

2班

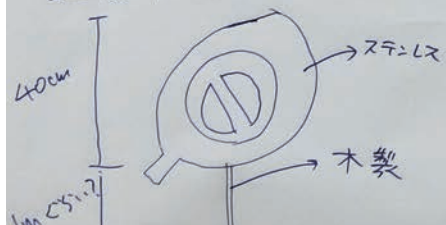
色は2〜3色
色: 深緑・深茶
文字: 白
「まち」に貼ってあるシール

高尾山では
ゴミを持ち帰る
ルールです。

シール案



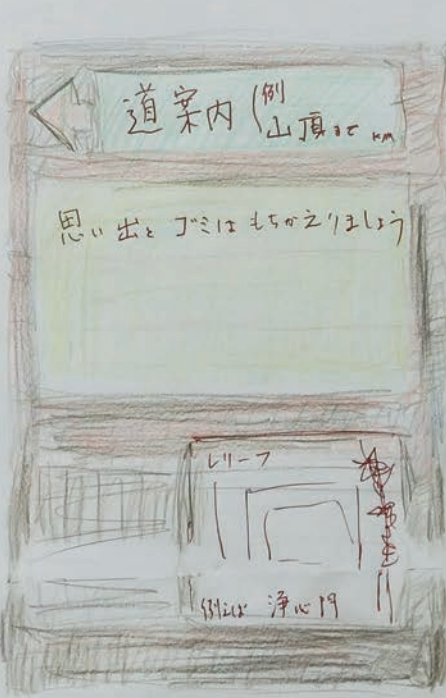
てんぐ むささび
立看板&シール



40cm
1m50cm

ステンレス
木製

60cm



1m
ぐらい

数は少なく
既存の看板もやり直し
深みのある色
木→焼物
同化しやすい
印象にのこすデザイン
人の目線に高いか低いかわかる
休みの所とか1号路とか
人工物のところに置く
大きい看板のうらに
捨てられるようにしたい
リレーターはゴミをさす
1見せ人に見るようにしたい

検討内容の概要

•周辺の景観に調和させるだけでなく、**地域の魅力(自然や歴史文化など)を伝える**ための検討が多く行われた

•**広告物の主なターゲット(外国人や初めて地域を訪れる人)を想定**したうえで、**具体的な表示方法や設置場所**の検討が行われた

•デザインは画一的にするのではなく、**地域全体のまとまりを作りつつ(色彩など)、場所に応じた調整が必要(大きさ・種類など)**という検討が行われた

▼

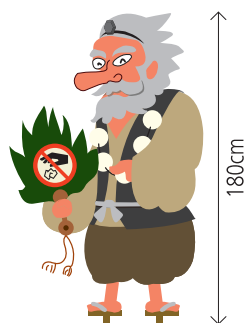
広告物のデザインの要素別 意見のまとめ			
種類	•周辺の広告物との統一感があると良い •同じ内容を異なる種類の広告物にも展開できると良い	•設置場所の環境や伝える目的に合わせて種類を検討した方が良い	
大きさ	•歩行者にとって過大でない大きさが良い •周辺の環境に合わせて大きさを変えた方が良い	•周辺の広告物と大きさを揃えた方が良い •周辺の自然に調和する大きさが良い	•目線の高さなど見やすさを考慮した大きさが良い
色彩	•周辺の自然に調和する深みのある色が良い •地域にゆかりのある色だとなお良い	•周辺の環境に同化しすぎない方が良い •色数は2〜3色にまとめたが良い	•地と文字の色にメリハリがあるなど読みやすい配色だと良い
素材	•木材など自然素材を活用した方が良い •自然に馴染む耐久性のある素材が良い	•異なる素材を組み合わせて効果的な表現にするのも良い	
内容	•図記号を使うなど端的でわかりやすい表示が良い •3ヶ国語(日本語、英語、中国語)で表記した方が良い	•地域らしさを感じられる表現が良い •親しみやすさを感じられる表現が良い	•周辺の広告物と競合しない内容が良い
書体	•読みやすい書体、大きさ、太さのものが良い •和の雰囲気を感じられる書体が良い	•デザイン性の高い書体が良い •書体に統一感があると良い	

work2: グループワーク

各班のアイデアをシミュレーションしました

1班のアイデアのシミュレーション

天狗の立体像



正面のイメージ



駅前に設置したイメージ

お掃除小僧の広告物



正面のイメージ



登山道に設置したイメージ

2班のアイデアのシミュレーション

焼杉の案内看板

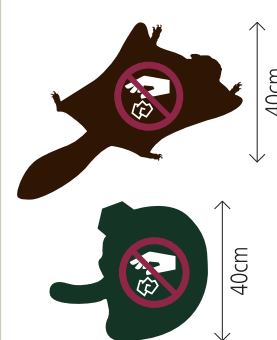


正面のイメージ



複数の広告物が集まりやすい場所に設置したイメージ

むささびと天狗のシール



正面のイメージ



自動販売機に貼付けたイメージ(むささび)



大きな案内看板に貼付けたイメージ(天狗)

葉の立て看板と高尾山シール



正面のイメージ



人工物の付近に設置したイメージ(葉)



店頭貼付けたイメージ(高尾山)